

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 大垣北高等学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和3年7月6日（火）13時
- 3 開催場所 書面開催
- 4 参加者

会長	竹内 治彦	岐阜協立大学学長
副会長	兒玉 榮一	大垣北高校同窓会長
委員	安藤 光男	大垣国際交流協会常務理事
	伊藤三枝子	清流の国ぎふ女性防災士会会長
	種田千佳子	(株)種田石油店代表取締役社長
	田村 弘司	中部学院大学前事務局長兼特任教授
	土川 達也	大垣北高校育友会長
	堤 俊彦	大垣市体育連盟会長
	三浦 陽子	大垣市男女共同参画推進室会長
山田 治美	大垣市立赤坂中学校校長	
学校側	鈴木 彰	校長
	澤藤 哲也	教頭
	蒲 尚胤	教頭
	井上 則昭	事務部長
	内田 康雄	教務主任
	土肥 義史	進路指導主事
	田中 卓哉	生徒指導主事
	田口 貢大	1年学年主任
	佐野 智紀	2年学年主任
	松野 智博	3年学年主任

5 会議の概要

(1) 令和3年度学校運営基本方針について

意見1：学校教育目標にある「智・徳・体の調和のとれた」、「豊かな人間性」、「グローバルな視野」、「人類・社会に貢献できる」等々、どれも素晴らしい目標である。実現に向けて教職員が一致団結し、生徒とともに頑張っていたきたい。

意見2：学校教育目標は至極当たり前の内容である。教職員と生徒にどこまで深く理解されているか説明があるとよい。

意見3：マニフェストは素晴らしい。高校生活は学業・行事・部活動などを通して、生徒自らが「自分探し」をする場だと思う。その応援する学校であってほしい。

- 意見4：マニフェストに従い適切な学校運営に努めていただき、一人ひとりの生徒が楽しく実りある学校生活を送れるよう指導されたい。
- 意見5：4つの重点目標はバランスが取れていてよい。評価指標の中で、土曜日の活用と教員の時間外勤務との兼ね合い、学校推薦選抜の活用と生徒の進路目標に対するモチベーションの維持が課題である。
- 意見6：感染症対策も含めて、教職員の働き方改革を推進するにあたり、部活動や補習の見直しなど、是非参考にさせていただきたい。
- 意見7：教職員のICT能力の向上を図ることが必要。それは働き方改革にも繋がると思う。「フェイス トゥ フェイス」も大切だが、さらなる工夫をお願いしたい。
- 意見8：平日、休日を問わず教職員の生徒に対する思いが伝わり、学校の前を通るたびに頭が下がる。しかし国公立大学の合格者数が目標となり、生徒へのプレッシャーになってはいないか心配している。
- 意見9：コロナ禍における生徒たちの学力伸長を考える上で、早期にICT環境を整備して、効率的な活用していただきたい。
- 意見10：ICTの活用は教育の重要なテーマであり、是非追究してほしい。教職員の働き方改革は重要だが、順番としてやはり生徒に関する事柄を優先すべきであると思う。

(2) 本校は「地域の学校」として、どのような役割が期待されているか

- 意見1：県下の伝統校・リーディングスクールとして、入学した生徒が確かな学力と豊かな人間性を身に付け、高い志をもって卒業していけるよう指導されたい。
- 意見2：生徒の郷土愛の醸成と生徒が地域の問題にも関心を持つような取組を通じ、将来的に、地域社会に貢献できる人材の育成を期待する。
- 意見3：学校は地域の人々と挨拶、清掃活動、スポーツを通して協同作業する場である。しかし実際は、地域住民との交流は大変難しいことである。最近話題の校則を生徒自身の手で見直すのも一考である。
- 意見4：「地域史」・「地域防災」などで地域の人々と年に一度繋がることができれば、地域にとって身近で頼もしく誇らしい学校になるのではないか。
- 意見5：小中学生が憧れを持つ学校、大垣市（岐阜県・西濃）を中心にふるさとの良さを幅広く発信できる学校。
- 意見6：地域のリーダー校の一挙手一投足は、常に衆目を集めているので「モラルのある行動」が求められる。その行動が地域に伝搬することにより、安定した街づくりに繋がっていくと考える。
- 意見7：国内のみならず、世界を相手に社会貢献ができる大人になってほしい。
- 意見8：地域との連携や協働を組織的かつ継続して活動してほしい。
- 意見9：歴史と伝統を大切にして、卒業生が誇りをもって母校を語るができるような学校であってほしい。中学生の憧れ、目標とする学校であってほしい。
- 意見10：地域を代表する進学校、名門校として、あらゆる分野で生徒の活躍を目の当たりにするのを楽しみにしている。

(3) 本校が更なる飛躍を遂げるために

- 意見1：様々な経験ができるチャンスを与えることと学外への情報発信を積極的に行う。
- 意見2：人間の尊厳の本質を学ぶこと。本質を理解した後、学問に励むと学問が楽しくなると思う。
- 意見3：校則の見直し等が問われている。今後どのようなプロセスで進めていくか又は進め

ているのか教えていただきたい。

意見4：高校のカリキュラムの自由度は小さいかもしれないが、ICT教育での活用の部分など、積極的に新たな試みを追究されてはどうか。

意見5：智・徳・体の調和こそが大切である。学習と部活動などを通しての人間育成。様々なことに興味を持ち、取り組むことができるような学校環境であってほしい。

意見6：今後実際の授業、部活動等の様子を見て、中味のあるアドバイスをしたい。

意見7：部活動で目覚ましい成績を残す。数学オリンピック・ロボコン・生物、物理・歴史など各種コンテスト等の学びと結びつきながら、生徒の興味関心を深く掘り下げ発表する。

意見8：地域の課題や将来起こりうる課題などについて、若者の視点での問題提起や課題解決に向けたアイデアなどを情報発信する。

意見9：現役で活躍されているOBを招き、関わる機会をもてば、生徒たちにより視野が広がる。

意見10：経営計画にあるキャリア教育というものを、様々なツールを活用していきながら進めてほしい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校運営基本方針について承認が得られた。
- ・スクール・ポリシー策定の趣旨を理解していただき、具体的な提言を得ることができた。今後、校内で文案を作成し、第2回学校運営協議会において検討を深めたい。